

現世安穩

導師 現楠
げん げん なん

私たちがお参りの中で拝読する、高祖日蓮大聖人のご遺文に「如説修行抄」があります。

「説くところの如く修行する」すなわち、釈尊が説かれたみ教えどおりに、
仏道修行に励むという意味です。

——天下万民諸乗一仏乗と成って妙法独り繁昌せん時、万民一同に
南無妙法蓮華經と唱え奉らば、吹く風枝をならさず、雨壤を碎かず。

代は義農の世となりて、今生には不祥の災難を払い長生の術を得、人法共に不老不死の理顕れん時を御覽ぜよ。

現世安穩の証文疑い有るべからざる者なり。

「世の人々が、皆等しく成仏じょうぶつできる唯一ゆいいつの教えである『法華經』に帰依きえし、教えが盛さかんになり人々が一同にお題目だいもくを唱えたと、今まで木々の枝を激しく鳴らすような暴風や、土塊つちくれを砕くような激しい大雨などの荒天は、息を潜ひそめるのである。

古代中国の賢王けんおうである『伏羲』や『神農』が治めた平和な世の中と同様、難を逃れ、長寿の術を得られるのである。

人と法の双方が、不老不死の真理をあらわす時を、各自しっかりと見届けられるであらう。

この世において、心安らかな平和な境地が得られるという確かな証明であることは、間違いないのである」

と、いかにお題目が尊く、教化きやうけご弘通ぐつうが肝要かんようであるかを説いています。



ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が、二〇二二年二月に始まりました。侵攻から四年半以上が経過した今もなお、双方の攻撃が続いており、終結への道のりは、まだまだ遠いものと思われます。

加えて、本年二月には、アメリカとイスラエルが共同で、イランに対する

大規模な軍事攻撃を行いました。これにより、イランの最高指導者を含め、双方で多くの人々が命を落とし、現在も戦争終結に至っていません。

それにより、中東諸国を巻き込んで緊張が高まり、その余波は、日本を含む全世界の経済とエネルギーへの影響が広がっています。

貧困と格差、少子高齢化、環境問題と、気候変動、情報とテクノロジーの課題などの社会問題も山積しています。



お釈迦しやかさまのみ教えに「五濁ごじよく」があります。

「劫濁ごうじよく」——世の中の汚れ。

戦争、飢饉ききん、疫病、天災などの、混乱が満ちている状態

「見濁けんじよく」——思想や見解の汚れ。

偏った考え方や価値観が広がり、真実が見えなくなる状態

「煩惱濁ぼんのうじよく」——欲望、怒り、愚痴といった煩惱ぼんのうが激しくなり、自身をコン

トロール出来なくなった状態

「衆生濁」——心のあり方が損なわれ、道德心が衰え、人格、品格が、

低下していく状態

「命濁」——生命力が衰え、命が軽んじられる状態

まさに現代は、末法濁世の世の中です。

これから先も、我が国をはじめ世界中が不安定な様相を呈し、緊張感が増していくでしょう。

私たちは「どうあるべきか。どうすべきか」、先がなかなか見えない状態のままです。そのような時、まず私どもがすべきことは大聖人に倣い、現世安穩を祈ることではないでしょうか。

国のため、世のため、人さまのため、日々平穩であるよう、そして争い事が一日でも早く収まるよう、一心こめてお祈りしようではありませんか。

世の人々が正法たるこの「法華経」に帰依し、一同にお題目を唱え、教えを興隆すべく、教化ご弘通に邁進していただくではありませんか。

皆さん祈りましょう！